



次丸地区

地域計画 課題と将来の方向性 ダイジェスト版

【次丸地区の農用地等面積】 139.9ha

うち 【田】 103.8 ha 【畑】 35.5 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 128.7 ha)

- 今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 14.0ha
- 次丸地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 20.6 ha
- 主な生産品目：水稲、大豆、トマト、飼料作物、花卉など

(令和 8 年 2 月 27 日現在)

地域農業の課題

【農業者の高齢化と労力不足】

法人、営農組織、認定農業者、個人経営者
において深刻化

【農地の維持・管理問題】

耕作放棄地の発生懸念(基盤整備が行われ
ない農地)

農地の引き受け困難化

基盤整備済農地でも、法人構成員の高
齢化や従業員不足により

【農業経営の経済的問題】

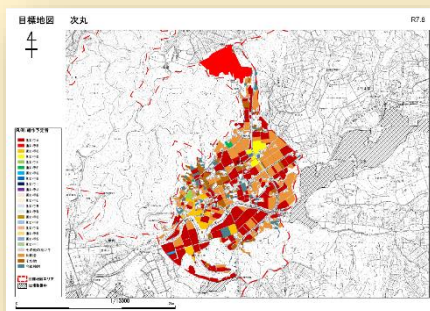
農業所得の低下

農畜産物価格低迷と生産費上昇

農業の衰退懸念

再生産価格が確保できていない状況から

次丸地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策
定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた
取り組みを進めるため、地域の話し
合いで出し合った「課題」や「今後の
方向性」を取りまとめたものです。ま
た、農地一筆ごとに 10 年後の耕作
者を取りまとめた「目標地図」も作成
されています。

このダイジェスト版は、地域農業の
「課題」や「今後の方向性」を抜粋して
作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくも
のですので、年に1回程度、地域の皆
さんで「課題はありますか?」、「困り
事ありますか?」、「やってみたい
農業はありますか?」など、話し合っ
てみてはいかがでしょうか。

地域農業の方向性

【生産・営農構造の強化】

複合経営の推進

特別栽培米を主軸に、転作作物(大豆、高収益野菜、花卉、飼料作物等)

日本型直接支払制度の継続

持続的な農地活用

農業法人等による耕作継続

高齢化で耕作困難な基盤整備完了農地

【農地利用の最適化】

農地の集積・集約化の推進

農地中間管理機構を通じた賃借

農地中間管理機構の活用

個別で管理困難な農地の段階的貸付

基盤整備除外農地の環境整備

有害鳥獣緩衝地として草刈り等を実施

【人材の確保・育成】

多様な経営体(働き手、認定農業者、新規就農者)の確保・育成

関係機関と協議し、栽培技術の継承

【環境・生産基盤の保全】

鳥獣被害防止対策の実施

電気柵・防護柵設置、被害状況共有、有害鳥獣駆除・捕獲人材育成

有機農業・減農薬の推進

畜産農家やJA 大地活力センターと連携

農地・農道等の保安全管理

中山間地域等直接支払交付金等の事業を活用

このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記QRコードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室 (TEL 0197-34-2371)

